

平成17年度舟入高等学校SELHi研究開発中間報告会 研究授業指導案

教 諭 佐藤 将記

1. 授業名 『英語Ⅱ』
2. 期 日 10月28日(金)
3. 時 間 4 限
4. 場 所 東棟3階 303号教室
5. 対 象 2年10組 18名(普通科・国際コミュニケーションコース)
6. 内 容 プチ国際会議
7. 教 材 『Crown English Series Ⅱ Lesson 6 "Singlish Bad; English Good"』(三省堂)
8. 背 景

(1) 教材観

生徒たちはこれまで、英語を媒介にしての海外の高校生との意思疎通が思うようにうまくいかない経験をしてきた。この度、学習した“Singlish Bad; English Good”から、その原因の一端が英語の多様性にあるのではないかと考えた。『プチ国際会議』という形の発表を通じて、「音読」をベースに、「スピーチ作り」「暗誦」「即興」の力を養成したいと考えた。

生徒観

「シャワーを浴びるがごとく英語に触れさせる」という信念のもとに、毎時「音読」、「暗誦」「シャドウイング」「中抜きプリント」等で英語発話の訓練を重ねている。

(3) 指導観

本コースは『英語で議論出来る発信能力の育成』を目標の一つとしている。そのため、日々の授業での音読、暗誦に重きを置いている。今回は論理的で説得力のある思考力養成に心がけた。本時は、ユーロ・スコラでの経験を生かして「音読」「スピーチ作り」「暗誦」「即興」の成果を発表する。

9. 学習指導計画

時	学習内容・学習活動
1 ～ 4	テキスト(Lesson6)の内容把握
5 ～ 7	発表の概要説明、及び資料収集、原稿作り
8(本時)	発表『プチ国際会議』

10. 本時案

(1) ねらい

- ① 世界各国で使用されている様々な種類の英語の起源、特徴などを学ぶ。
- ② 『プチ国際会議』で自分達が調べてきた内容について工夫を凝らして自由に発表する。
- ③ 相手の発表内容を理解し、英語の多様性について学習する。

(3) 学習過程

流れ	時間	活動内容	指導(○)と評価(◎)の留意点
導入	5分	<u>Opening</u> ・司会進行役により開会 ・Opening Speakerによる内容紹介	・英語の多様性についての発表をするに至った経緯を説明する。 ・聴衆に問題点を提起する。
展開	40分	<u>Presentation by the Representatives</u> ・"Indiglish" ・"Afriglish" ・"Spangilish" ・"Jaglish" ・"British" ・発表に関する質疑応答	・時間内に自分たちの発表を終えるようにする。 ・はっきりと、大きい声で自然に発表するように努力する。
まとめ	5分	・Closing Speakerによるまとめ	・発表を通じて何を感じたか、「今」を生きている私たちは何をすべきかをまとめる。